

福島県指定重要無形民俗文化財



舟引き祭り

磐梯神社の

舟引き祭り と巫女舞



巫女舞



そば振る舞い



磐梯明神太鼓演奏

『明神舞』江戸時代末期以来の復活



令和6年 春分の日

3/20

水

体験

舌鼓

場所：磐梯神社

(福島県耶麻郡磐梯町大字磐梯字並杉5300)

- 12:00 神事
- 12:40 巫女舞・明神舞
- 13:45 磐梯明神太鼓演奏
- 14:00 舟引き祭り

江戸時代末期以来の復活!

舟引き祭りに参加できます。

参加者には、野良着の貸し出しの他、黄色い手ぬぐいとお饅頭をプレゼント!

※参加者は、13時に神社境内集合
※参加無料

主催／舟引き祭り実行委員会 後援／磐梯町・磐梯町教育委員会・磐梯町観光協会
お問い合わせ／磐梯町観光協会 (TEL 0242-74-1214)

会津磐梯町そば協会の皆さんによるそばの振る舞いがあります。是非ご賞味ください。

舟引き祭り (ふねひきまつり)

会津仏教文化発祥の地、慧日寺の祭りとして、少なくとも300年以上続く伝統行事。明治に入って磐梯神社に受け継がれました。飯舟（いいふね）と呼ばれる木舟に米俵を3俵重ね、氏子が東西に分かれ3回引き合います。東が勝てば豊作、西が勝てば米の値段が上がるという、その年の作柄を占う神事です。判定は、磐梯明神が姿を現して行います。



巫女舞 (みこまい)

舟引き祭りの日に、地域の少女たちによって奉納される舞。榊の舞、弓の舞、太刀の舞の三座があり、通常は4人1組で行われます。舟引き祭りとともに福島県重要無形民俗文化財に指定されています。



明神舞 (みょうじんまい)

江戸時代末期以来の復活となる明神舞は、福島県内では最古級の芸能（延年の舞）として、慧日寺最大の祭事「御国祭」で奉納されていた舞です。踊り手2人が慧日寺の本尊であった薬師如来坐像の脇侍である日光菩薩、月光菩薩のお面を着けて舞い会津地域の五穀豊穡や国家安寧を祈りました。会津藩八代藩主、松平容敬公が残したスケッチ記録を基に再興し、例祭においては今回が初奉納となります。

会場周辺案内図

磐梯神社

